

# 調 査 票

番 号	14	所管府省名	農林水産省
-----	----	-------	-------

独立行政法人名	独立行政法人緑資源機構 ( <a href="http://www.green.go.jp/">http://www.green.go.jp/</a> )	非特定
---------	--	-----

## 1 組織名及び職員数等

	組 織 名	職員数(役員を除く)	
		常 勤	非常勤
移行前(発足時の前日)	特殊法人緑資源公団	806人	0人
	プロパー職員数	763人	0人
	所管官庁からの出向者数	39人	0人
	所管官庁以外の官庁からの出向者数	2人	0人
	その他(地方公共団体からの出向)	2人	0人
発足時 (平成15年10月1日現在)	独立行政法人緑資源機構	795人	0人
	旧組織からの移行者(プロパー職員)数(注1)	748人	0人
	所管官庁からの出向者数	41人	0人
	所管官庁以外の官庁からの出向者数	3人	0人
	移行後の採用者数	0人	0人
	その他(地方公共団体からの出向)	3人	0人
平成16年4月1日現在	同上	772人	0人
	旧組織からの移行者(プロパー職員)数(注2)	708人	0人
	所管官庁からの出向者数	47人	0人
	所管官庁以外の官庁からの出向者数	4人	0人
	移行後の採用者数	9人	0人
	その他(地方公共団体からの出向)	4人	0人
平成17年4月1日現在	同上	752人	0人
	旧組織からの移行者(プロパー職員)数(注3)	670人	0人
	所管官庁からの出向者数	50人	0人
	所管官庁以外の官庁からの出向者数	4人	0人
	移行後の採用者数	23人	0人
	その他(地方公共団体からの出向)	5人	0人
平成18年4月1日現在	同上	737人	0人
	旧組織からの移行者(プロパー職員)数(注4)	637人	0人
	所管官庁からの出向者数	53人	0人
	所管官庁以外の官庁からの出向者数	4人	0人
	移行後の採用者数	36人	0人
	その他(独立行政法人、地方公共団体からの出向)	7人	0人
平成19年4月1日現在	同上	720人	0人
	旧組織からの移行者(プロパー職員)数(注5)	609人	0人
	所管官庁からの出向者数	51人	0人
	所管官庁以外の官庁からの出向者数	4人	0人
	移行後の採用者数	49人	0人
	その他(独立行政法人、地方公共団体からの出向)	7人	0人

備考: (注1)うち育児休業者等(4名)を含む。  
 (注2)うち育児休業者等(4名)を含む。  
 (注3)うち育児休業者等(3名)を含む。  
 (注4)うち育児休業者等(5名)を含む。  
 (注5)うち育児休業者等(5名)を含む。

## 2 指定職総数及び役員数等

	役員数等	
	常勤	非常勤
移行前(発足時の前日)	7人	2人
発足時(平成15年10月1日現在)	7人	1人
移行前において指定職・役員であった者の数	7人	1人
平成16年4月1日現在	7人	1人
移行前において指定職・役員であった者の数	6人	1人
平成17年4月1日現在	7人	1人
移行前において指定職・役員であった者の数	3人	1人
平成18年4月1日現在	7人	1人
移行前において指定職・役員であった者の数	1人	1人
平成19年4月1日現在	7人	1人
移行前において指定職・役員であった者の数	0人	1人

### 3 指定職・役員給与総額及び個人別給与年額

指定職・役員給与総額	
支給年度	報酬総額
移行前の最終1年度間(平成14年度)	134,953千円
発足時(平成15年度:平成15年10月~16年3月)	124,282千円
平成16年度	123,790千円
平成17年度	118,790千円
平成18年度	119,636千円
備考 (注1) 役員は、非常勤を含む。 (注2) ガイドラインに基づく給与水準公表資料に記載されている額を記載。 ただし、14年度以前は、ガイドラインに基づく給与水準の公表が行われていないので財務諸表の附属明細書に記載されている額を記載。	

指定職・役員個人別の給与年額		
支給年度	役職名	報酬年額
移行前の最終1年度間(平成14年度)	理事長	未公表のため記載せず
	理事(4人)	未公表のため記載せず
	理事(非常勤)	未公表のため記載せず
	監事	未公表のため記載せず
	監事(非常勤2人)	未公表のため記載せず
発足時(平成15年10月~16年3月)	理事長	20,559千円
	理事(5人)	84,277千円
	監事	13,349千円
	監事(非常勤)	6,097千円
平成16年度	理事長	20,587千円
	理事(5人)	82,545千円
	監事	14,610千円
	監事(非常勤)	6,048千円
平成17年度	理事長	20,476千円
	理事(4人+1人(11カ月))	79,390千円
	監事	12,884千円
	監事(非常勤)	6,040千円
平成18年度	理事長	18,545千円
	理事(5人)	80,868千円
	監事	14,199千円
	監事(非常勤)	6,024千円
平成19年度(4月~9月までの6カ月分)	理事長	8,564千円
	理事(4人+1人(1カ月))	33,104千円
	監事	6,876千円
	監事(非常勤)	3,012千円
備考 (注1) 役員は、非常勤を含む。 (注2) ガイドラインに基づく給与水準公表資料に記載されている額を記載。		

#### 4 役員氏名等

(平成19年4月1日現在)

氏名	公務員 経験	独法等 役員経験	役職名	就任年月日	就任時年齢
経歴					
兼職先			役職名	常勤・非常勤	有給・無給
前田 直登		-	理事長	H18.8.1	57歳
昭和46年農林省入省 林野庁国有林野部長、林野庁次長、林野庁長官 平成18年1月6日退職					
-			-	-	-
山本 晶三		-	理事	H18.8.1	53歳
昭和51年農林省入省 農村振興局総務課長、大臣官房審議官(兼総合食料局)、水産庁漁政部長、農林水産政策研究所次長 平成18年7月31日退職(現役出向)					
-			-	-	-
八木岡 憲次	-	-	理事	H18.10.1	59歳
(独)緑資源機構九州整備局長 平成18年9月30日退職					
-			-	-	-
織田 哲雄		-	理事	H17.7.1	54歳
昭和51年農林省入省 農畜産業振興事業団総務部長、東海農政局次長、林野庁四国森林管理局長 平成16年7月14日退職 (独)緑資源機構審議役 平成17年6月29日退職 農林水産省大臣官房付 平成17年6月30日退職(現役出向)					
-			-	-	-
高木 宗男	-	-	理事	H17.4.1	57歳
(独)緑資源機構森林業務部長 平成17年3月31日退職					
-			-	-	-
松本 政嗣		-	理事	H17.4.1	56歳
昭和48年農林省入省 構造改善局建設部整備課長、関東農政局次長、中国四国農政局長 平成17年3月31日退職(現役出向)					
-			-	-	-

上田 信義	-	-	監事	H17.10.1	59歳
(独)緑資源機構東北北海道整備局長 平成17年9月30日退職					
-	-	-	-	-	-
宮澤 宣夫			監事(非常勤)	H15.10.1	61歳
昭和39年会計検査院採用 会計検査院事務総長官房研修官 平成8年12月17日退職 平成8年12月20日 秋田県監査委員 平成12年12月19日退職 平成13年1月1日 (特)農畜産業振興事業団監事(非) 平成15年9月30日退職					
-	-	-	-	-	-
備考 報酬年額、退職金については、個人情報のため記載せず					

<b>5 退職金支給総額等</b>	<b>引き続き調査中</b>
-------------------	----------------

<b>6 独立行政法人評価委員</b>	<b>引き続き調査中</b>
---------------------	----------------

13 独立行政法人から他の法人等への出向職員数等

引き続き調査中

14 中期計画の数値目標等

計画期間	第1期 平成15年度 ~ 19年度		
中期計画に定められた数値目標一覧			
【業務の効率化】			
・経費の抑制	一般管理費 13%	人件費 2%	事業費 10%
・執行体制	定員削減 75人		
【業務の質の向上】			
・水源林造成事業	重要流域植栽割合 88%	多様な森林造成割合 7%	利用間伐割合 20%
	丸太組工法延長割合 64%	コスト縮減 15%	
・緑資源幹線林道事業	完成区間数 10区間	木材利用量 2倍	再生アスファルト利用率 50%以上
	舗装用再生骨材利用率 50%以上	コスト縮減 15%	
・特定中山間保全整備事業	進捗率(平成15年度着工区域) 100%	木材使用量 2倍	
	舗装用再生骨材利用率 50%以上	コスト縮減 15%	
・農用地総合整備事業	完成区域数 7区域	木材利用量 1.5倍	再生アスファルト利用率 50%以上
	舗装用再生骨材利用率 50%以上	コスト縮減 15%	
・海外農業開発事業	相手国関係者へのアンケート 6ヶ国以上		
・情報提供	HPアクセス件数 倍増		
	達成状況		評価結果
発足時(平成15年10月~16年3月)	【業務の効率化】及び【業務の質の向上】については何れも年度計画の100%以上		(A):中期計画に対して概ね順調に推移している
平成16年度	【業務の効率化】及び【業務の質の向上】については何れも年度計画の100%以上		(A):中期計画に対して概ね順調に推移している
平成17年度	【業務の効率化】及び【業務の質の向上】については何れも年度計画の100%以上		(A):中期計画に対して概ね順調に推移している
平成18年度	【業務の効率化】及び【業務の質の向上】については何れも年度計画の100%以上		(B):業務実績は、中期計画に対して概ね順調に推移しているものの、入札談合事件を発生させたことを重く受け止め、談合問題に強い関連を有する4評価単位について「d」評価とした。これらを踏まえ、総合評価は「B」とした。

15 中期計画期間における特筆すべき研究あるいは業務の成果

<p>&lt;平成15年度&gt;</p> <p>【技術発表表彰事項】</p> <p>「地球規模の環境問題への取り組み(西アフリカ・サヘル地域における砂漠化防止対策)」/ 農業土木学会・上野賞</p> <p>「農業振興と地域開発の基礎を築いた広域的な排水整備(石狩川水系内水排除事業の計画と効率的実施)」/ 同上</p> <p>「構造物基礎のコスト縮減について(コマ型基礎活用による施工事例)」/ 農業土木学会表彰</p> <p>「造林用作業道における丸太組工法への取組について」/ 森と緑の研究交流会表彰</p> <p>「環境に配慮した法面緑化」/ 第39回林道研究発表会表彰</p> <p>「トンネル岩質による断面決定について」/ 第39回林道研究発表会表彰</p> <p>&lt;平成16年度&gt;</p> <p>【技術発表表彰事項】</p> <p>「桜並木を生かした農業用道路の施工事例」/ 農業土木学会表彰</p> <p>「造林用歩道についての考察」/ 森林・林業交流研究発表会表彰</p> <p>「雪害抵抗性品種「出羽の雪」の導入による効果について」/ 森林・林業技術交流研究発表会表彰</p> <p>「現場発生軟弱土を有効利用した盛土構築について」/ 第40回林道研究発表会表彰</p> <p>「トンネル工事における猛禽類に配慮した保全工法について」/ 第40回林道研究発表会表彰</p> <p>【情報提供事項】</p> <p>平成15年度環境報告書発行(平成16年8月)</p>
--

<平成17年度>

【技術発表表彰事項】

- 「東津野・城川線がつなぐ山村の活力」/第41回林道研究発表会表彰
- 「周辺と調和した法面緑化工を目指して」/第41回林道研究発表会表彰
- 「桜並木を生かした農業用道路の施工事例」/農業土木学会表彰

【情報提供事項】

平成16年度環境報告書発行(平成17年8月)

【環境負荷軽減に対する取組】

ISO14001の認証・取得(平成17年11月)

<平成18年度>

【技術発表表彰事項】

- 「ポーラスコンクリート板を用いた小動物保護工法(区画整理における小動物保護工法)」/農業土木学会表彰
- 「現場発生材等を利用した濁水処理について」/第42回林道研究発表会
- 「木質チップの有効利用について」/第42回林道研究発表会

【情報提供事項】

平成17年度環境報告書発行(平成18年7月)

【国連会議 における優良取組事例紹介】

マリ国セグー地方南部砂漠化防止計画調査

国連砂漠化対処条約第7回締結国会議:国連砂漠化防止対処条約(94年締結)に基づき2年に1度開催される締結国会合(180締結国)

<平成19年度>

【技術発表表彰事項】

小動物用脱出スロープの検証と機能向上実験/農業農村工学会表彰

【情報提供事項】

平成18年度環境報告書発行(平成19年8月)

16 平成18年度における支出の概要

引き続き調査中

17 行政組織から独立行政法人への再就職

引き続き調査中

18 独立行政法人から他の法人への再就職

引き続き調査中

19 出資法人一覧

引き続き調査中

20 平成18年度における売却資産等の概要

(1)有価証券 (2)固定資産

引き続き調査中